

持続可能な高齢化社会・経済のための ライフ・サイクル・アプローチ

Life-Cycle/ Course Approaches to Promote Healthy and Active Ageing and Economic Implications

G20岡山保健大臣会合開催記念事業

世界で、アジア太平洋地域で、急速に進んでいる少子高齢化はSDG3(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)のみならず、すべての持続可能な開発目標の達成に影響を及ぼします。高齢化が最も進んだ日本でのG20岡山保健大臣会合(10月19～20日)開催を記念して、G20岡山保健大臣会合サイドイベントを開催します。G20参加国から有識者が報告し、持続可能な高齢化社会のあり方を探ります。

2019年10月18日(金)

13:00～17:00

岡山大学 Okayama Univ.

創立五十周年記念館

50th Anniversary Hall

プログラム Program

13:00～開会の挨拶、趣旨の説明 Opening

13:40～ライフ・サイクル・アプローチとは—日本の事例をもとに

Theory for Life-Cycle Approach and its examples from Japan

14:20～高齢化と経済 Population Ageing and the Economy

15:00～休憩 Break

15:30～パネル・ディスカッション—G20参加国の事例 Panel Discussion

with experts from China, Germany, India, Indonesia, Japan, Republic of Korea, Spain, Thailand, Viet Nam

16:50～閉会の挨拶 Closing

【対象】 どなたでもご参加いただけます open to everyone

日・英語 同時通訳あり Japanese-English Interpretation available

【参加費用】 無料 【申し込み】 不要 No fees, reservation not required

【問合せ】 岡山大学国際部 TEL : 086-251-7048

Inquiries: rmori@unfpa.org, yumikoyamamoto@okayama-u.ac.jp

[主催] 国連人口基金 (UNFPA) アジア太平洋地域事務所

[共催] 外務省, 岡山大学, 世界保健機関 (WHO), European Observatory on Health Systems and Policies, ASEM Global Ageing Center, 日本老年学的评价研究機構

[後援] G20岡山保健大臣会合支援推進協議会



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



World Health
Organization

